

SG課題研究【研究計画書】評価規準(ルーブリック)

※各欄「+」は「あり」を意味する

| 基準                             | 極めて良好である                                | 概ね良好である  | 改善の余地がある  | 一層の努力を要する                              |
|--------------------------------|---|--|---|--|
| 点数                             | 4                                       | 3  | 2   | 1                                      |
| <b>A</b><br>[課題発見力]<br>テーマ設定   | 17 SDGs*に関連+<br>テーマが具体的+<br>独自性+ or先進性+ | 17 SDGsに関連+<br>テーマが具体的+<br>既存研究にありそう               | 17 SDGsに関連+<br>テーマが概論的(浅く<br>広く広いままで深くな         | 17 SDGsのどれにも関係しない                      |
| <b>B</b><br>[探究の深度1]<br>探究可能性  | 先行研究を踏まえる+<br>FW*計画の有効性+<br>専門機関の活用+    | 先行研究を踏まえる+<br>FW計画の有効性+<br>専門機関の助言を受ける機会がない        | 先行研究を踏まえる+<br>FW計画とテーマとの関連づけが弱いor計画が現実的でない      | 先行研究を踏まえていないor先行研究と自分たちの研究との境界が不明瞭     |
| <b>C</b><br>[探究の深度2]<br>論理的発展性 | 論拠を挙げる+<br>情報の分析+<br>分析結果の総合+           | 論拠を挙げる+<br>情報の分析+<br>収集・分類した情報が、分類されたままで総合的結論がない   | 論拠を挙げる+<br>収集した情報が、分類されず、単発の論拠として使われている         | 主張を述べるだけで根拠がない                         |
| <b>D</b><br>計画性                | FWとテーマの整合+<br>FW成果を想定+<br>FW成果を複数想定+    | FWとテーマの整合+<br>FW成果を想定+<br>想定が収束思考のみで、他の可能性を想定していない | FWとテーマの整合+<br>成果を想定しない行くだけ聞くだけの計画である            | そのテーマでなぜそこに行くのか、FWを行う意義が感じられない         |
| <b>E</b><br>[表現力 発信力]          | 言語での伝達+<br>ポイントファースト<br>対話的発信+          | 言語での伝達+<br>ポイントファースト+<br>伝えるばかりで、聴き手と対話する工夫や努力がない  | 言語での伝達+<br>主張やトピックを最初に言わないので、最後まで聴かないと何の話か分からない | 声量が不十分、言葉が不明瞭など、言語として伝わっていない           |
| <b>F</b><br>[傾聴 共感]            | 発表を理解+<br>共感的理解+<br>批判的思考+              | 発表を理解+<br>共感的理解+<br>他の可能性やもっと良い方法を考えながら聴いていない      | 発表を理解+<br>当事者意識*がない                             | 聴いていない<br>理解していない<br>※自分の発表で頭が一杯の場合も含む |
| <b>G</b><br>[協働性]<br>関心・意欲・態度  | 全員に役割あり+<br>全員が発言&思考+<br>誰が代表でも発表できる+   | 全員に役割あり+<br>全員が発言&思考+<br>分担した仕事以外はできない、理解していない     | 全員に役割あり+<br>発言&思考をしないメンバーもいたが、活動に参加するよう促した      | 一部の班員のみで作業を行い、消極的なメンバーは面倒なので放置した       |

※1 基準A~Eは、他の班の発表を評価する際に使用します。良い点・改善点をコメント欄に記入しましょう。  
 ※2 基準F, Gは、自己評価に使用します。

\*17 SDGs 2015年に国連で採択された『我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ』で、具体的な行動指針として示された17の「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals, SDGs)」。

|               |                          |                    |                                    |
|---------------|--------------------------|--------------------|------------------------------------|
| 1. 貧困を終わらせる   | 7. 持続可能な現代的エネルギー         | 10. 不平等の是正         | 15. 陸地の持続可能な利用                     |
| 2. 飢餓を終わらせる   |                          | 11. 持続可能な都市および人間居住 | 16. 平和と正義                          |
| 3. 健康的な生活     | 8. 持続可能な雇用と経済成長          | 12. 持続可能な生産と消費     | 17. 持続可能な開発のための実施手段とグローバル・パートナーシップ |
| 4. 質の高い教育     | 9. インフラストラクチャー構築、イノベーション | 13. 気候変動対策         |                                    |
| 5. ジェンダー平等    |                          | 14. 海洋の持続可能な利用     |                                    |
| 6. 水と衛生の利用と管理 |                          |                    |                                    |

\*FW フィールドワーク

\*ポイントファースト

主張や要点を先に述べ、説明を後に述べる手法。主題が先に提示されるので、聴き手が理解しやすい。

\*当事者意識 他者の発表に対して「自分だったらこうする(こう思う)」という意識を持つこと。